

残暑お見舞い申し上げます。夏季休業中にリフレッシュを考えていた方、普段できない仕事をガンガン進めたいと考えていた方、みなさん計画どおりに過ごせていますか？夏季休業もう半分終わりました。「充実した夏だった」と言えるよう、やり残しなく2学期を迎えたいですね。さて、今年度も島事研研究部の活動が本格的にスタートしました。活動に対しまして皆様の理解、ご協力よろしくお願ひいたします！



## 第四次研究中期計画の総括に向けて

研究部長 岡田 由美

早いもので1学期が終わり、夏休みも中盤に突入です。会員の皆様には、夏休み中も多忙な日々をお過ごしのことと思います。

平成26年度は、島事研にとって第四次研究中期計画の総括と、同時に第五次研究中期計画の策定を行うという非常に重要な1年になります。第四次研究中期計画では「創造しよう 新しい学校事務を！ 教育課程への参画を通して」というテーマのもと、「財務マネジメント能力の向上」「情報共有によるつなぐ役割への発展」という2つの目標を設定して取り組んできました。

さて「財務マネジメント」について、皆さんは具体的にどのように解釈しておられますか？

これは、あくまでも私の個人的な解釈ですが、財務の分野から、財務の視点で、自分がシナリオを作り、差配し、目的を達成・実現させるということなのかなど。自分が表に立つことは少ないけれど、自分が主体的に自分のビジョンを持って、環境・条件整備をしたり、上手く調整することなのだと、ようやく自分なりに理解して自分の言葉に置き換えることができるようになりました。

そして「つなぐ役割」について。

「つなぐ」ということは、普段何気なくやっているけれど、気にとめていないことが多いですよ。でもそうやって知らないうちにつないでいることもあれば、計算して意図的につなぐことが必要な場面もあります。前者の「(知らないうちに) つないでいる役割」に加えて、後者の「(意図的に) つなぐ役割」が果たせるようになると、それはまさに「つなぐ役割への発展」ですね。「つなぐ役割」もどちらかという自分が主役になることは少なく、例えると“潤滑油的”なものと思います。(大辞林によると「物事を円滑に運ぶための役割、または人」ですって！) だから自分が目立ち過ぎてしまったら、もしかすると「つなぐ」任務としては失敗しているのかもしれないですね。表面にまでベトベトの潤滑油が出ていると、あまり良い感じではないですよ。

さて、今回設定した2つの研究目標は、私たちにとって最も身近な領域にあるものですが、どちらも自分だけが実働するのではなく人に動いてもらうために、企画したり、調整したり、気配りしたり等々という、少々難度の高い事務職員としての役割や資質向上に関わったものだと感じました。どちらの目標も見えにくいし、言葉だけ聞いていると抽象的な感じです。

そこで、研究部から提案した“マネジメントシート”は、目的や目標を見失わないための道標となり、自分の取組が見えるために有効だったのでは？・・・等々というように、研究部では11月に益田市で開催される第45回県大会に向けて、4年間の取組をじっくりと振り返りながら総括の作業を進めているところです。

さて私事になりますが、今年度研究部長をさせていただくことになりました。経験的にも能力的にも頼りなく思われて当然の私ですが、会員の皆さんからのご協力をいただきながら、研究部のメンバーとともに精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

P.S.

今年度市町村をまたぐ異動をしました。システムが違うこともあり、わからないことだらけで、簡単なことにも時間がかかり、情けないほど仕事はかどりません。また学校規模や学校で求められている役割もかなり違い、戸惑いも多いのですが、このように市町村・規模が異なる学校に勤めることができるのは、自分の視野が広がるチャンスとしてプラスに捉えています。この経験を研究部での活動に生かすことができるよう・・・いや、絶対に生かしてやるぞ!!と企んでいる私です(≥▼≤)!!



◎第四次研究中期計画の総括を行います。

- 前期の研究目標（「学校財務マネジメント能力の向上」）の考察と評価
- 後期の研究目標（「情報共有によるつなぐ役割への発展」）の考察と評価
- 全体のまとめ

◎第五次研究中期計画の策定を行います。

◎第45回研究大会（益田大会）を、第四次研究中期計画を総括する大会とします。

◎研究に係わる情報収集と発信を行います。（「研究部だより」の発行等）

(準備)		第四次研究中期計画				
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
取組	策定 提案	目標「学校財務マネジメントの 向上」に沿った取組		目標「情報共有によるつなぐ役 割への発展」に沿った取組		全体総括
<学校財務キャリアステージ表>の完成・<情報キャリアステージ表>の完成						

## H26 研究部員紹介

今年度は新メンバーが加わりました。会員の皆様には、ご意見・ご要望をはじめとして、何か研究のヒントになりそうなアイデアをお持ちの方がおられましたら、お気軽に研究部員にご連絡ください！今年度もよろしくお願いいたします！

部 長 岡田 由美（出雲・湖陵中）  
部 員 谷川美緒子（安来・十神中）  
NEW 部 員 兒玉 和寛（仁多・三沢小）  
部 員 木戸 清治（大田・池田小）

副部長 勝部 千恵（松江・東出雲中）  
部 員 青山 悦子（松江・揖屋小）  
部 員 津田 耕一（邑智・川本中）



## 編集後記

### ところで皆さん まず研究部とつながろう！

先日、島根県立三瓶自然館サヒメルで野鳥が専門の学芸員さんのお話を聞きました。その学芸員さんから、野鳥の魅力の話聞いたのですが、凄いことに、もともと野鳥に興味のなかった私が興味を持つようになったのです。自分の仕事が大好きで、仕事を楽しんでおられる学芸員さんのお話は、聞く私の興味をひき、心を揺さぶりました。

会員の皆さん、自分の仕事、好きですか？楽しいですか？ぜひとも研究部に、取組シートを活用して学芸員さんのように仕事のお話を熱く聞かせてください。今している取組、やってみたい取組、課題だと思ふ取組、いろいろなお話が誰かの心を揺さぶります。みんなで自分の仕事を研究しましょう。（文責 木戸）